

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 11月分

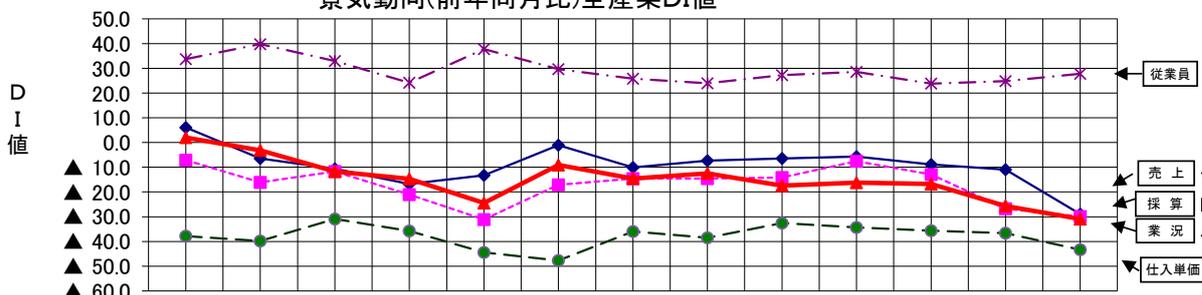
## 【11月の概要】売上は下降傾向、先行きも慎重な見通しが続く

10月の業況判断に比べると、売上D Iが大幅に悪化し、採算D I・業況D I・仕入単価D Iともマイナス幅が増加し、従業員D Iはプラス幅が増加した。売上、採算とも悪化している中、外注費を抑え内製化を進め利益確保を図るなど、事業所も出来る限りの対応を行っているが厳しい状況が続いている。

先行きについては、10月に比べ、売上D I、業況D Iはマイナス幅が増加し、採算D I、業況D Iは若干マイナス幅が減少し、従業員D Iはプラス幅が減少した。

仕入の高止まり、人件費、外注費など経費の増加が続いており、売上も不透明な状況で、慎重な見通しとなっている。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2018年 11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	2019年 11月
◆ 売上	6.1	▲ 6.5	▲ 10.6	▲ 16.8	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9
■ 採算	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9
▲ 業況	2.0	▲ 3.2	▲ 11.7	▲ 14.7	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9
● 仕入単価	▲ 37.8	▲ 39.8	▲ 30.9	▲ 35.8	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3
* 従業員	33.7	39.8	33.0	24.2	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6	23.8	24.8	27.8

売上D Iは18.0ポイントと大幅に悪化、採算D Iは3.2ポイント、業況D Iは5.2ポイント、仕入単価D Iは6.7ポイントのマイナス、従業員D Iは3.0ポイントプラス幅が広がった。

## 全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
9月	▲ 5.0	▲ 22.8	▲ 22.8	▲ 31.7	28.7
10月	▲ 14.9	▲ 24.8	▲ 23.8	▲ 33.7	23.8
11月	▲ 17.5	▲ 24.7	▲ 22.7	▲ 34.0	23.7

先行き見通しでは、売上D Iが2.6ポイントのマイナス、採算D Iは0.1ポイント、業況D Iは1.1ポイントマイナス幅が減少し、仕入単価D Iは0.7ポイントのマイナス、従業員D Iは0.1ポイントプラス幅が減少した。

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木	前年対比で売上は減少しているが、外注費抑制、内製化など自助努力で対応している。
	設備工事	人材不足が深刻なところに、求人募集をしても応募がない状況。
製造業	機械部品	売上が減少している中、人件費、資材価格は上昇している。
	食品	主原料の価格が高止まりしている。
卸売業	食品	気温が高かったために季節商品の売上げが減少。
	機械工具	材料に続き製品の値上げが行われており、利益が圧迫されている。
小売業	生花	12月は販売増が見込まれるが、従前ほどの売上は期待できない。
サービス業	運輸	運賃単価を改善したが、物量減少で相殺されている。
	ソフトウェア	Windows7サポート終了に伴うパソコン入替えて、来年1月までは売上が見込まれるが、その後は不透明。
	タクシー	スマホ決済が多くなっており、配車アプリの事前確定運賃を導入する会社もでてきた。